

2017/3期 第2四半期決算説明会

クオール

あなたの、いちばん近くにある安心

The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034



クオール株式会社



■ 2017/3期 1H決算概要

■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

■ 2017/3期 1H決算概要

■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

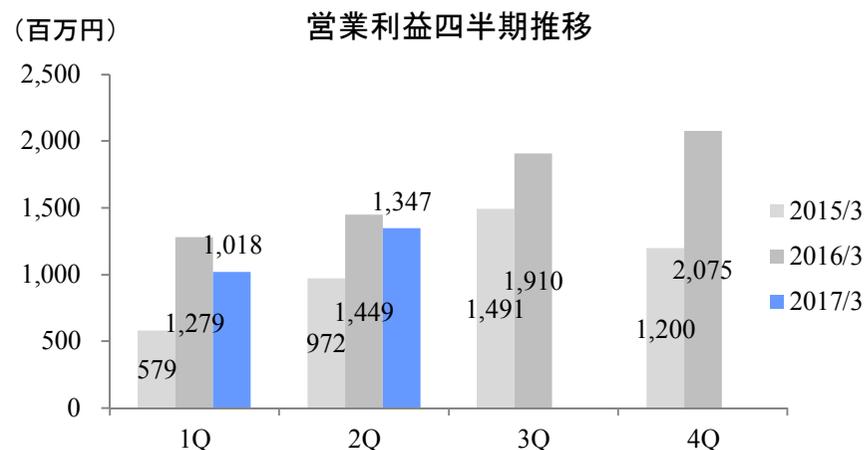
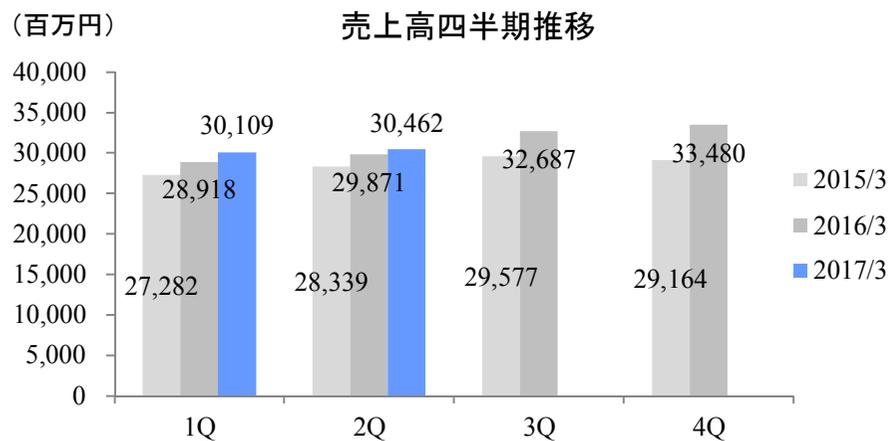
2017/3期 1H決算ハイライト・・・利益は計画を上回る



□ 医薬品調達コストの削減・派遣事業が収益に貢献

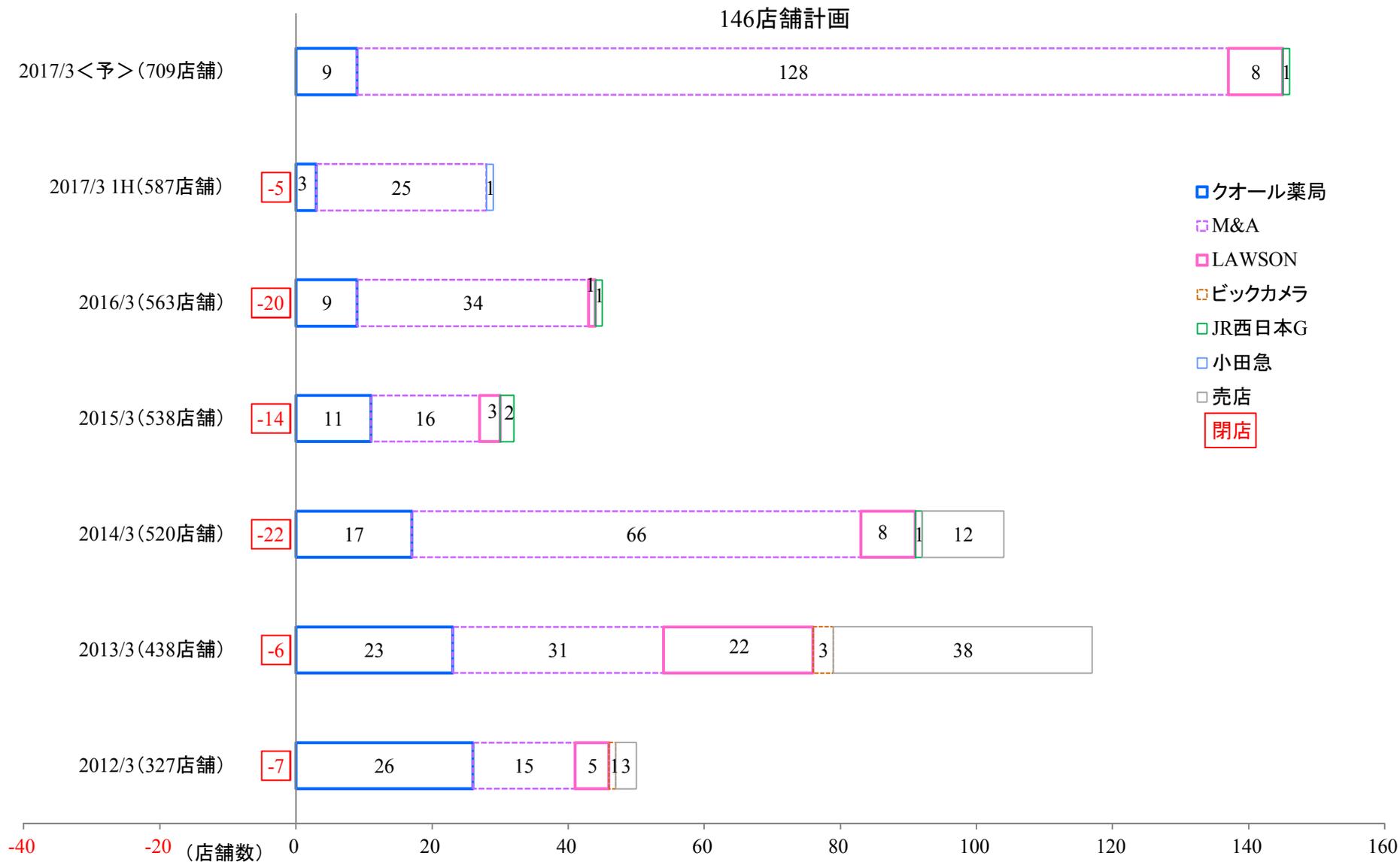
(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率 (%)	2017/3 1H計画	達成率 (%)
売上高	58,790	60,572	1,782	3.0	63,600	95.2
営業利益	2,740	2,366	-374	-13.7	2,300	102.9
経常利益	2,791	2,558	-232	-8.3	2,300	111.2
四半期純利益*	1,891	1,534	-357	-18.9	1,300	118.0
EPS(円)	55.01	44.48	-10.53	-19.1	37.70	118.0

※親会社株主に帰属する四半期純利益



✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

クオール出店推移



損益計算書



(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率 (%)
売上高	58,790	60,572	1,782	3.0
原価	51,601	53,311	1,710	3.3
原価率 (%)	87.8	88.0	0.2	-
総利益	7,188	7,260	72	1.0
総利益率 (%)	12.2	12.0	-0.2	-
販管費	4,447	4,894	446	10.0
販管费率 (%)	7.6	8.1	0.5	-
営業利益	2,740	2,366	-374	-13.7
利益率 (%)	4.7	3.9	-0.8	-
経常利益	2,791	2,558	-232	-8.3
利益率 (%)	4.7	4.2	-0.5	-
四半期純利益※	1,891	1,534	-357	-18.9
利益率 (%)	3.2	2.5	-0.7	-
総人件費	10,836	11,763	926	8.6
人件费率 (%)	18.4	19.4	1.0	-

□ 売上高

- 調剤事業: 55,079百万円(+897百万円)
- BPO受託事業: 5,492百万円(+884百万円)

□ 利益

➤ プラス要因

- 医薬品調達コスト削減により数億円の利益を獲得
- アポプラステーション過去最高益

➤ マイナス要因

- 技術料が計画に対し下回る
- 人件費: +926百万円
(うち原価 +776百万円、販管費 +149百万円)
- 設備費: +261百万円(のれん、減価償却費など)
- のれん償却前利益: 3,180 百万円
(のれん償却費814百万円)

(人)	正社員	(うち薬剤師)	臨時雇用者
2017/3 1H	3,984	(1,746)	1,758
2016/3 1H	3,544	(1,569)	1,638
(YoY)	440	(177)	120

※親会社株主に帰属する四半期純利益

貸借対照表



(百万円)	2016/3	2017/3 1H
現金及び預金	16,523	20,964
受取手形及び売掛金	15,242	11,702
たな卸資産	4,254	4,680
流動資産合計	37,824	39,020
のれん	17,469	18,433
固定資産合計	31,996	32,545
資産合計	69,847	71,603
借入金	4,696	5,948
流動負債合計	29,344	26,477
長期借入金	7,520	9,873
固定負債合計	19,481	23,240
負債合計	48,825	49,718
資本金	2,828	2,828
資本剰余金	9,354	9,366
利益剰余金	9,680	10,732
自己株式	-1,469	-1,441
株主資本合計	20,394	21,485
純資産合計	21,022	21,884
負債純資産合計	69,847	71,603

■ **資産合計 +1,755百万円**

□ **流動資産 +1,196百万円**

現金及び預金 +4,440 百万円

□ **固定資産 +548百万円**

のれん +964百万円

■ **負債合計 +893百万円**

□ **買掛金 -3,109百万円**

□ **長期借入金 +2,353百万円**

□ **有利子負債 +5,441百万円 (23,551百万円→28,992百万円)**

ネットD/Eレシオ:0.37倍(2016/3期:0.34倍)

(有利子負債-現預金)/自己資本

■ **純資産 +862百万円**

□ **その他有価証券評価差額金 -252百万円**

□ **利益剰余金 +1,051百万円**

■ **自己資本 21,601百万円**

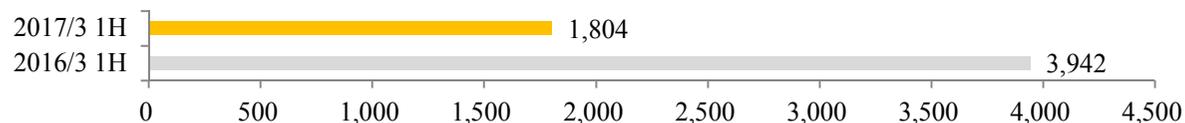
□ **自己資本比率:30.2%(2016/3期:29.7%)**

CF計算書



(百万円)

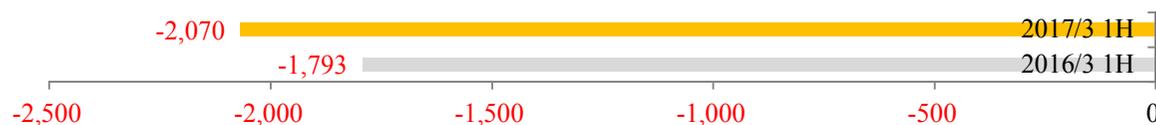
営業活動によるC/F



- 税金等調整前四半期純利益 2,865百万円
- のれん償却費 814百万円
- 法人税等の支払額 1,917百万円

(百万円)

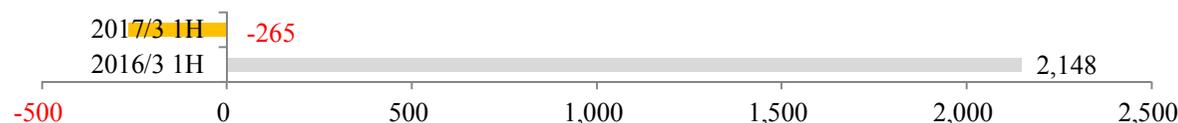
投資活動によるC/F



- 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 1,740百万円
- 有形固定資産の取得による支出 800百万円
- 投資有価証券売却による収入 561百万円

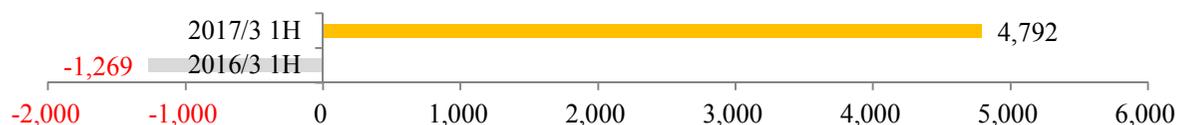
(百万円)

フリーC/F



(百万円)

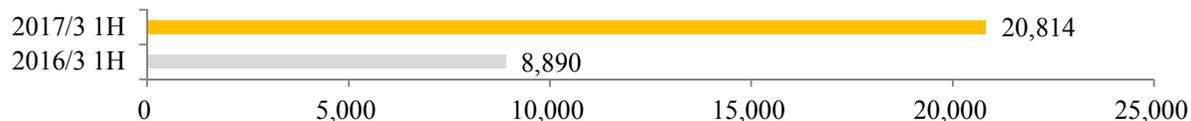
財務活動によるC/F

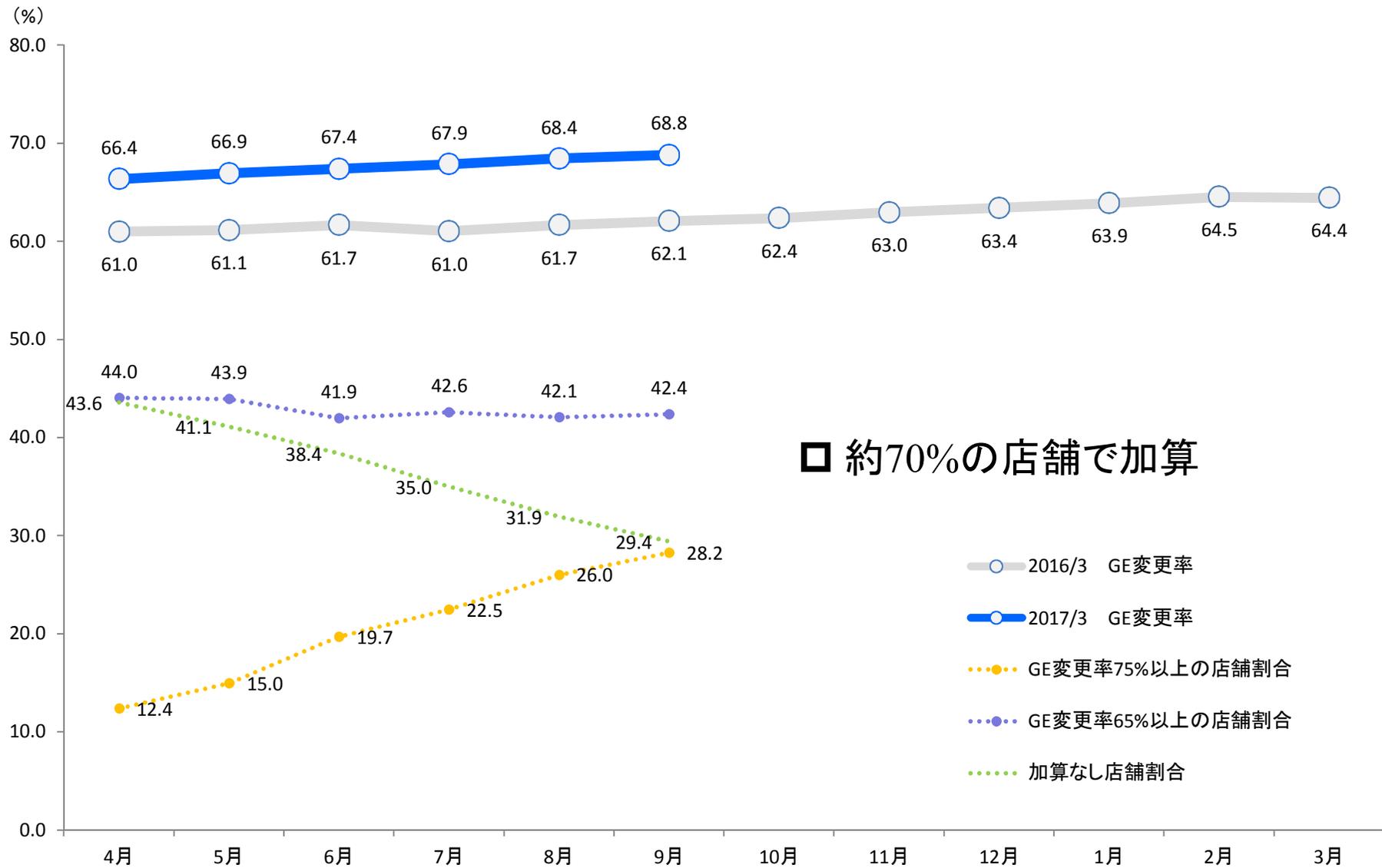


- 長期借入による収入 5,625百万円
- 社債発行による収入 1,983百万円
- 長期借入金の返済による支出 2,829百万円
- 配当金の支払額 482百万円
1株12円配当(前年同期比 +2円)
配当性向27.0%(2016/3 1H 18.2%)

(百万円)

現金及び現金同等物の四半期末残高

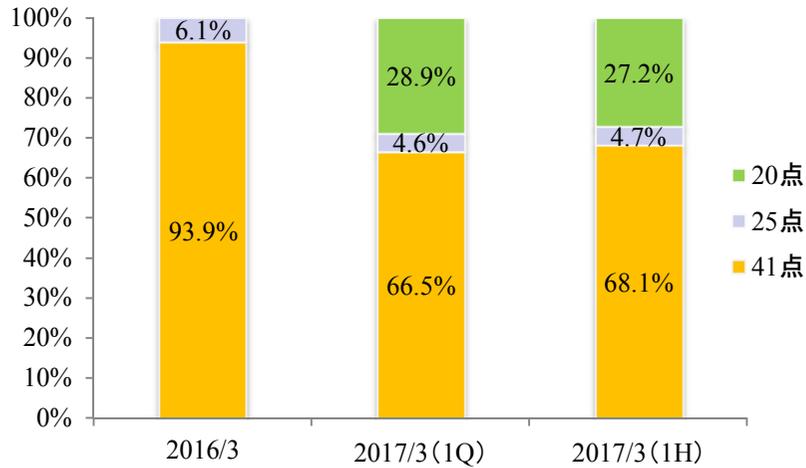




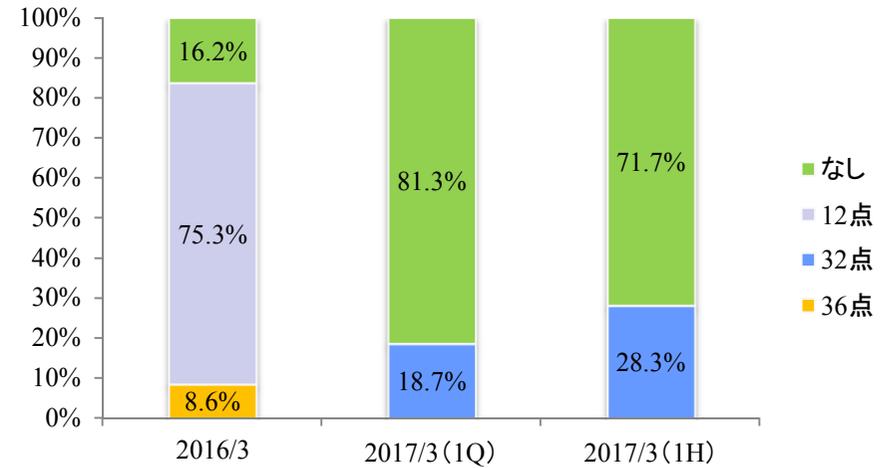
調剤報酬改定の影響



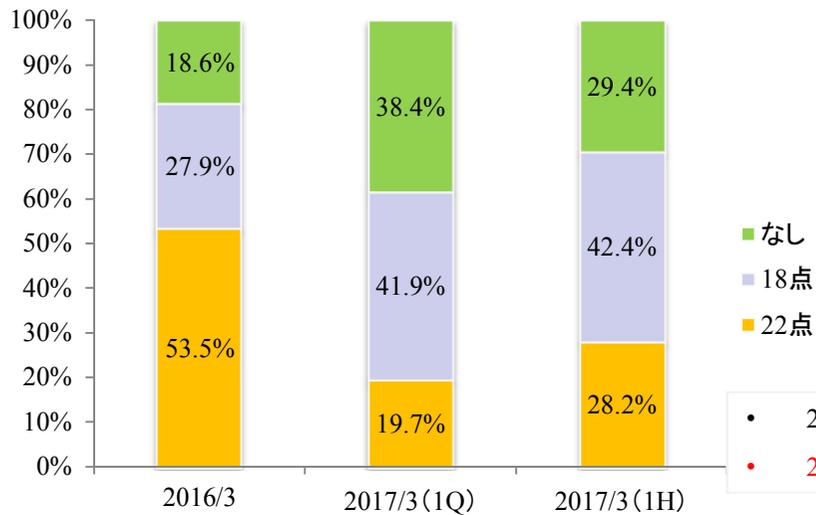
調剤基本料 店舗割合



基準調剤加算 店舗割合



GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



- 2016/3期 18点:数量ベース55%以上 22点:数量ベース65%以上
- 2017/3期 18点:数量ベース65%以上 22点:数量ベース75%以上

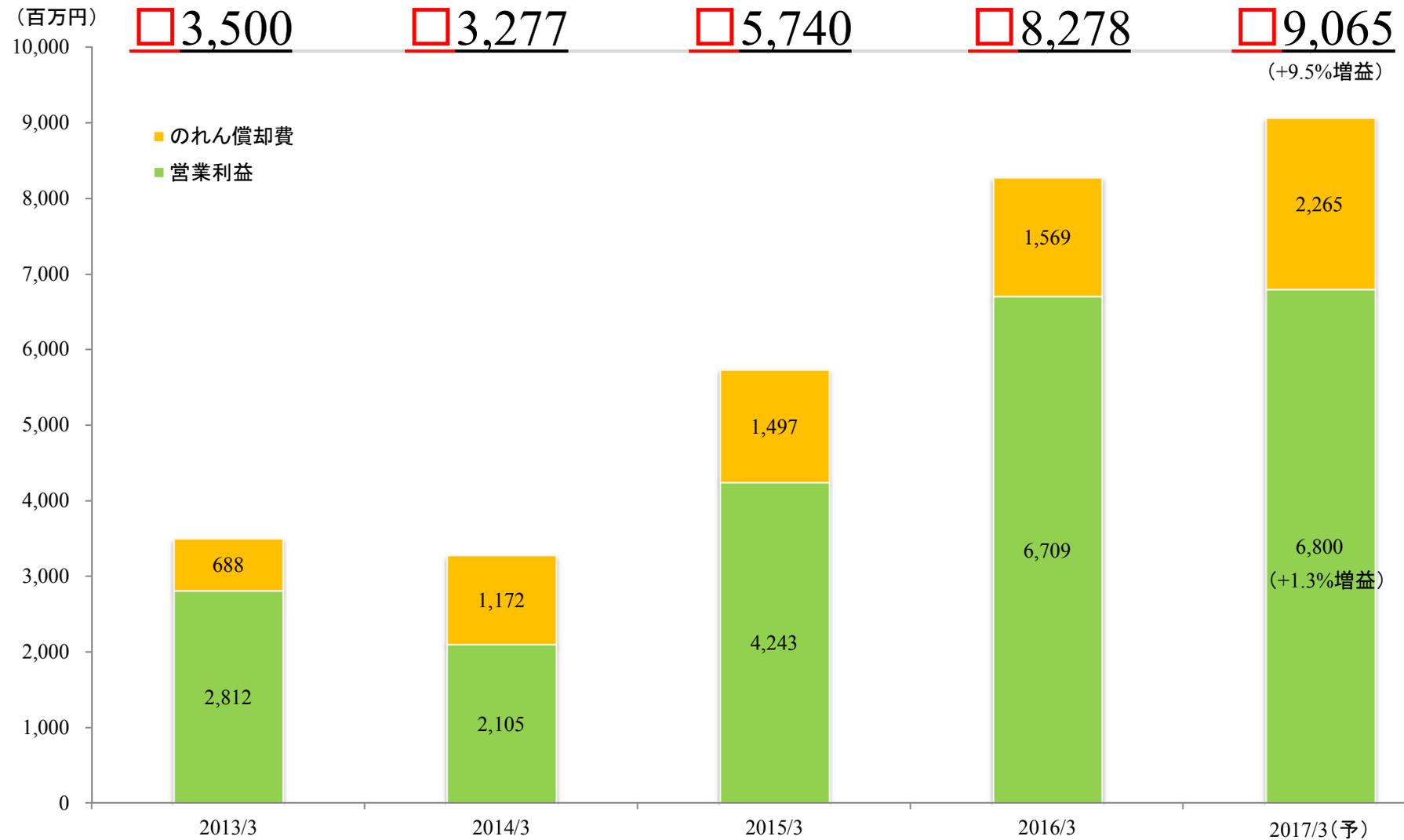
2017/3期予想



(百万円)	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3(予)	増減	増減率
売上高	100,966	114,363	124,957	138,000	13,042	10.4%
営業利益	2,105	4,243	6,709	6,800	90	1.3%
利益率(%)	2.1	3.7	5.4	4.9	-0.5	-
経常利益	2,208	4,262	6,655	6,800	144	2.2%
当期純利益※	777	2,155	3,641	3,700	58	1.6%
EPS(円)	25.11	63.33	105.81	107.28	1.47	1.4%
BPS(円)	521.60	557.42	604.49	-	-	-
配当金(円)	18.00	20.00	24.00	24.00	-	-
配当性向(%)	71.7	31.6	22.7	22.4	-0.3	-
時価総額	21,712	36,275	60,614	-	-	-
ROE(%)	5.2	11.9	18.2	-	-	-
ROA(%)	4.7	7.5	10.3	-	-	-
ROIC(%)	3.9	7.2	10.2	-	-	-
出店数	520	538	563	709	146	-
(LAWSON)	(37)	(37)	(32)	(40)	(8)	-

※親会社株主に帰属する当期純利益

収益力・・・営業利益＋のれん償却費

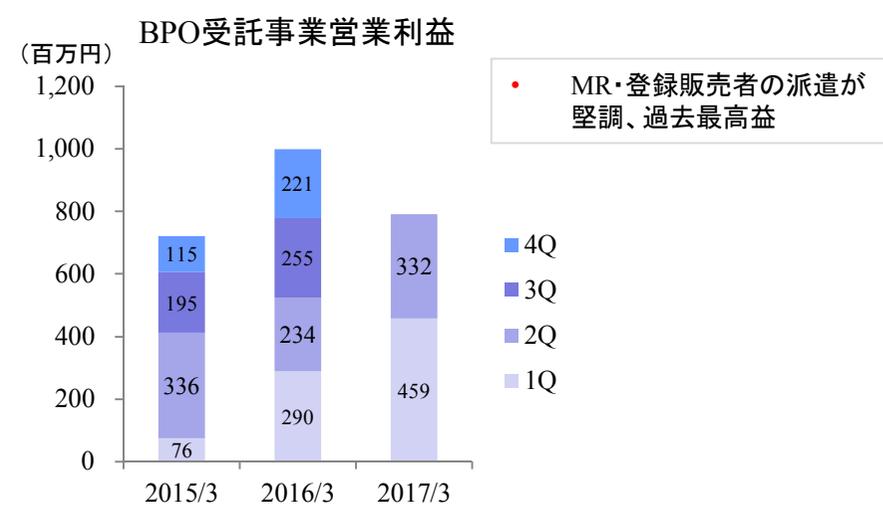
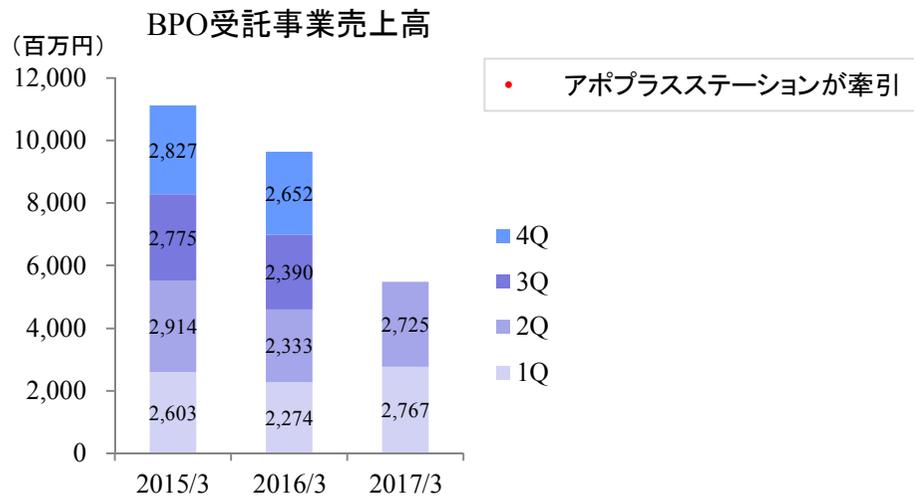
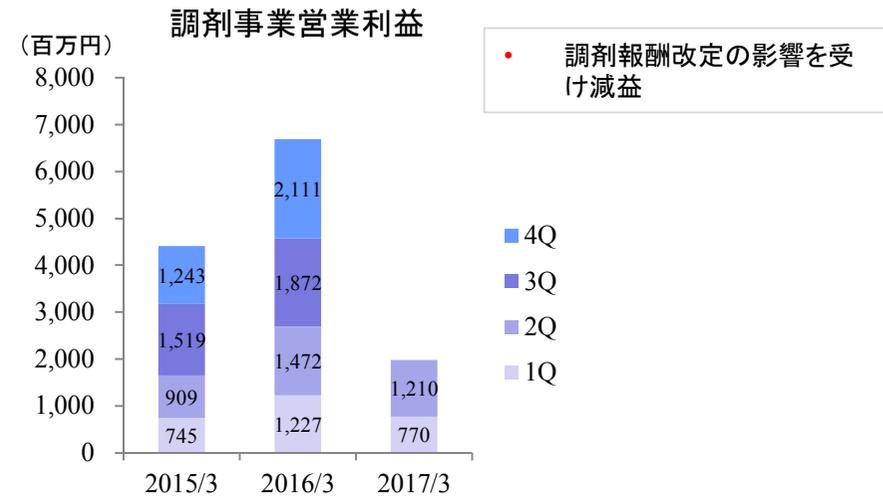
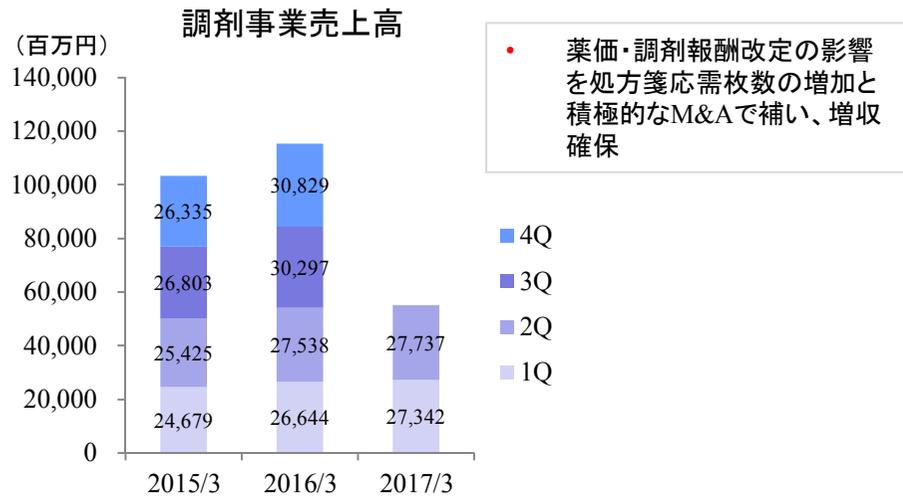


■ 2017/3期 1H決算概要

■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

セグメント・・・四半期推移



✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

(百万円)	2016/3 1H	2017/3 1H	増減	増減率(%)
調剤事業売上高	54,182	55,079	897	1.7
薬剤料	37,573	38,269	695	1.9
技術料	11,159	11,575	416	3.7
その他	5,450	5,235	-215	-3.9
原価	48,713	49,850	1,137	2.3
原価率(%)	89.9	90.5	0.6	-
総利益	5,468	5,229	-239	-4.4
総利益率(%)	10.1	9.5	-0.6	-
営業利益	2,711	1,980	-731	-27.0
利益率(%)	5.0	3.6	-1.4	-
BPO受託事業売上高	4,607	5,492	884	19.2
原価	2,888	3,461	573	19.8
原価率(%)	62.7	63.0	0.3	-
総利益	1,719	2,031	312	18.2
総利益率(%)	37.3	37.0	-0.3	-
営業利益	524	791	266	50.8
利益率(%)	11.4	14.4	3.0	-

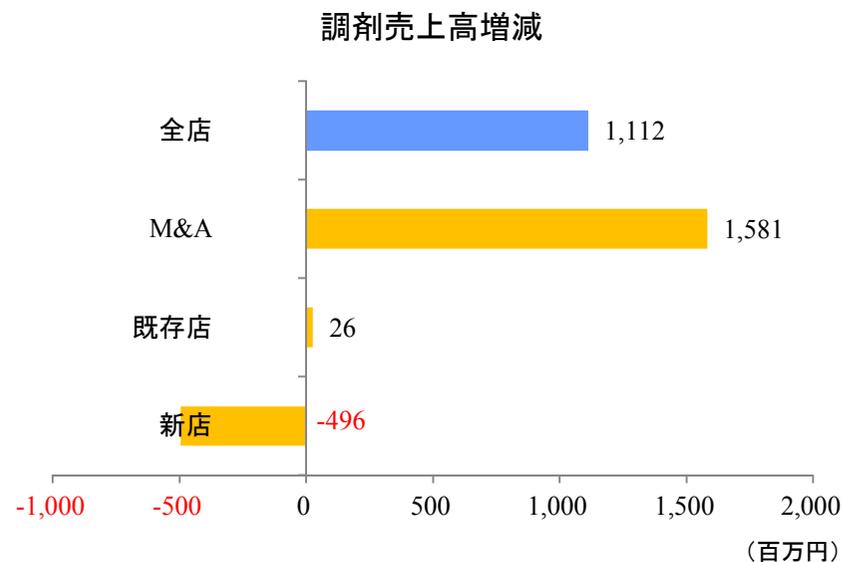
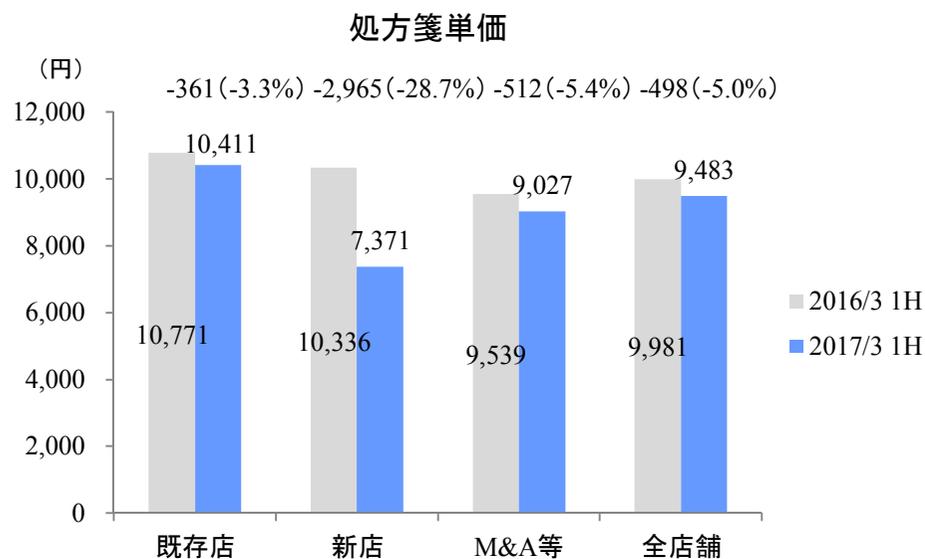
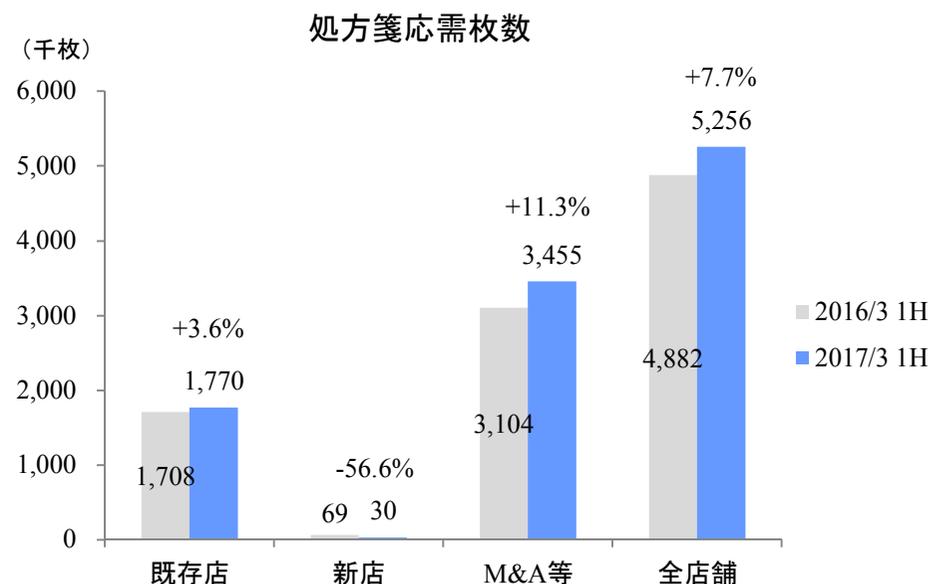
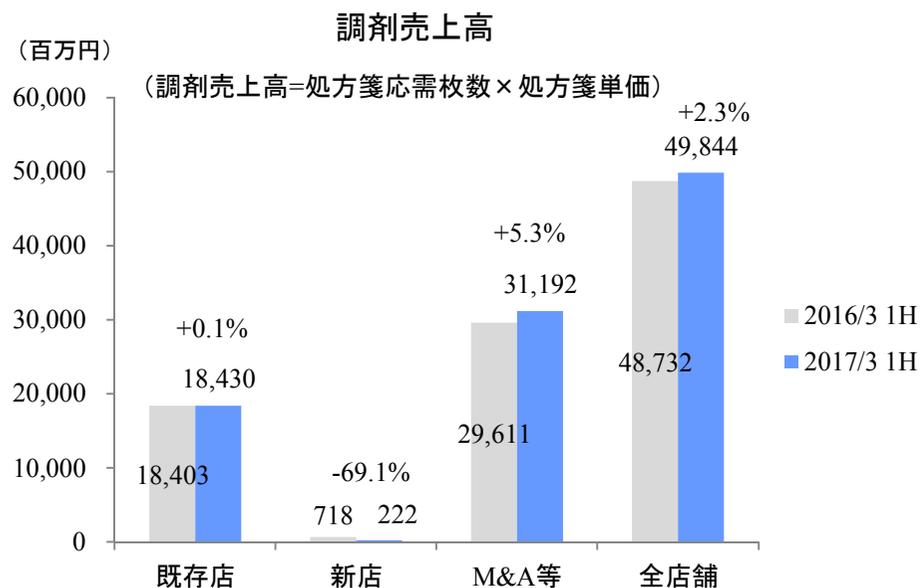
- 増収要因:
 - ✓ 既存店 +26百万円(+0.1%)
(既存店 2014/3:+15.3% 2015/3:+13.0% 2016/3:+19.0%)
 - ✓ M&A +1,581百万円(+5.3%)
 - ✓ 処方箋単価下落(-5.0%)を処方箋応需枚数増加(+7.7%)で補う
- 減益要因:
 - ✓ 調剤報酬改定等の影響と人件費が増加したことが要因
- かかりつけ薬剤師同意書: 数万枚
- かかりつけ薬剤師指導料(70点): 処方箋受付回数に占める算定割合は、1Qと比較して約2倍
- かかりつけ薬剤師届出割合(店舗勤務者比率): 約34%
- 増収・増益要因:
 - アポプラスステーションが2ケタの増収増益(最高益更新)
CMR以外では、登録販売者派遣が好調(+107.0%)

□ アポプラスステーション業績

(百万円)		1Q	2Q	3Q	4Q	Total
売上高	2017/3	2,415	2,306			4,722
	2016/3	1,981	1,911	1,930	2,137	7,961
営業利益	2017/3	511	372			883
	2016/3	324	251	251	289	1,116

✓ 1Q(4-6月) 2Q(7-9月) 3Q(10-12月) 4Q(1-3月)

調剤事業売上高内訳



■ 2017/3期 1H決算概要

■ セグメント情報

■ 1H決算総括 & トピックス

□ 2017/3 1H 決算総括

- 利益は、会社計画を上回り着地。
- 「かかりつけ薬剤師」同意書100件以上取得している薬剤師は、約160名。
- 調剤基本料特例除外の店舗数・・・4店舗(下期も拡大見込み)。

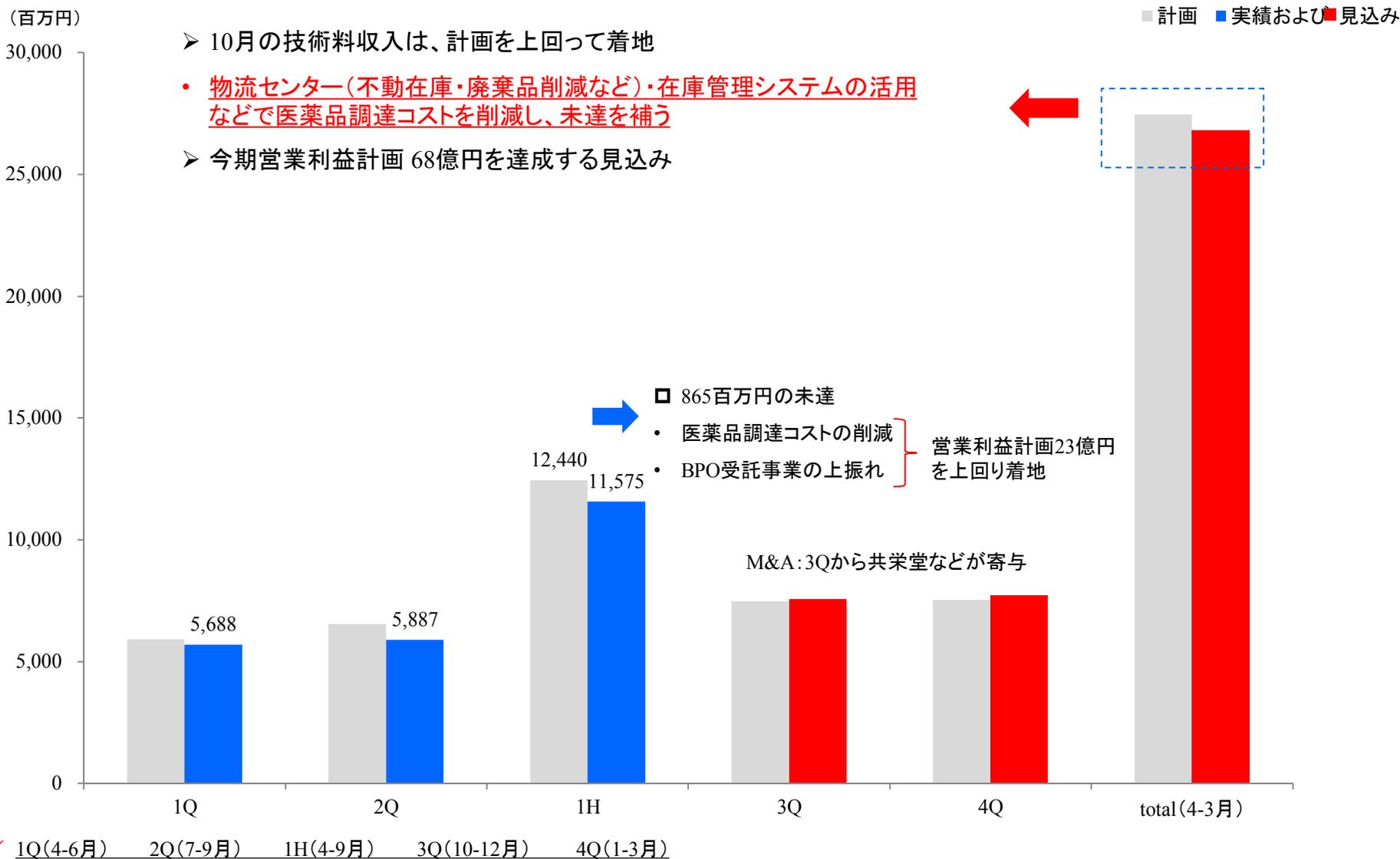
- アポプラスステーション過去最高益(営業利益:883百万円 +53.6%)
✓ 営業利益率: 2016/3(1H) 14.8% → 2017/3(1H) 18.7%(+3.9%)
✓ タイ事業が始動

- JR西日本G・・・下期に2店舗出店予定(計6店舗)。
- 首都圏初 駅ナカ出店・・・小田急線百合ヶ丘駅(9月出店)。

- LAWSONは、調剤部門が堅調に推移(売上高 +4.9%)。

- 在宅・・・売上高12億円(+9.3% 居宅比率40.5%) 受付回数12万回(+3.1%)
店舗数269店舗。

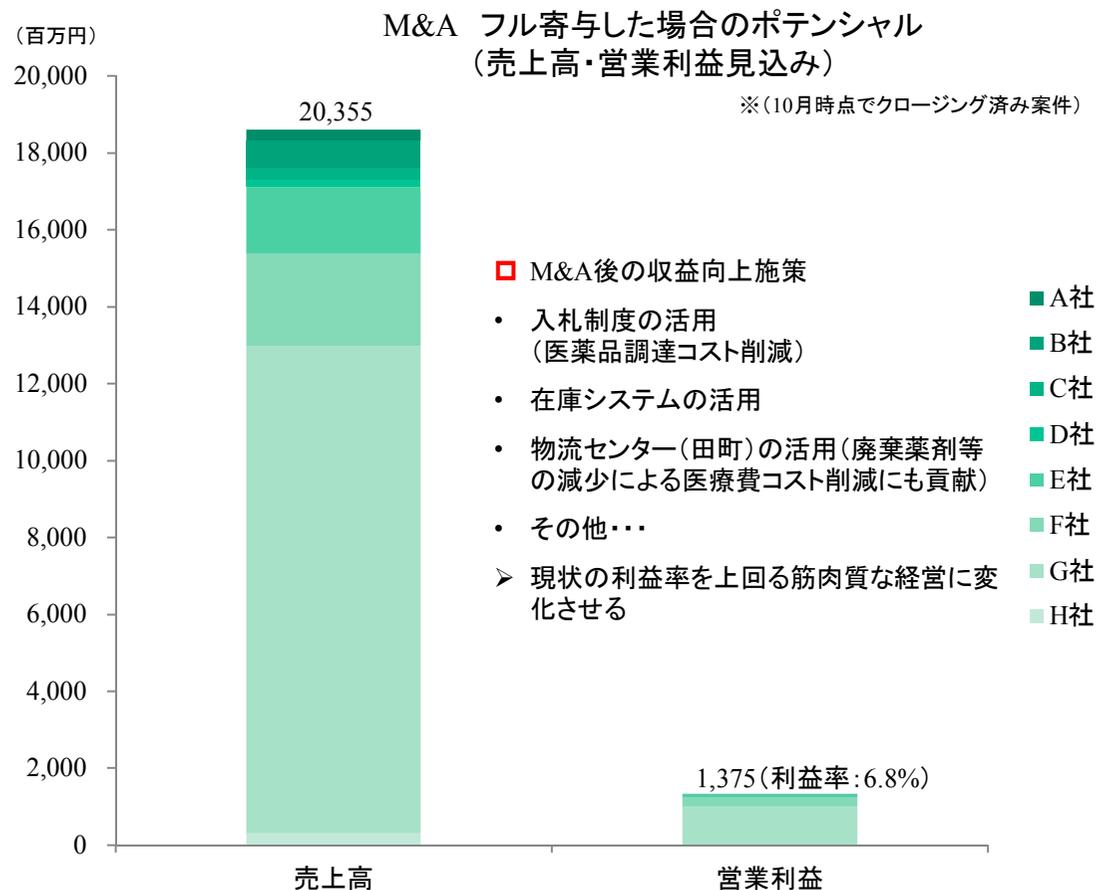
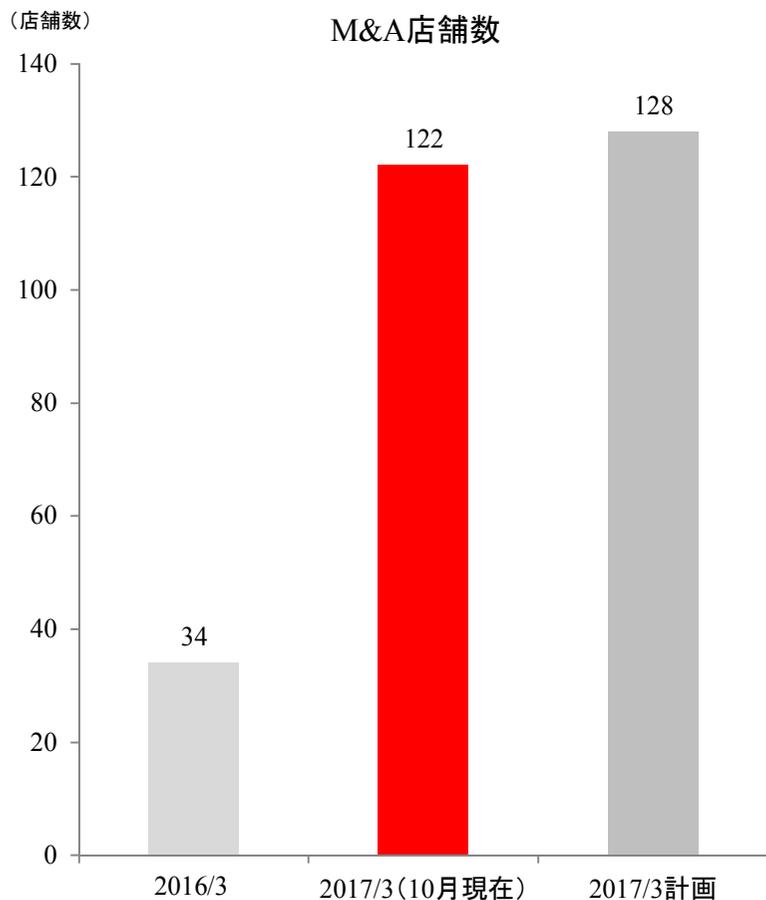
技術料収入



積極的なM&A



- CBで調達した100億円を積極的に活用
- 共栄堂・・・売上高 約130億円(86店舗 新潟・山形)
 - 新潟県81店舗となる(東京に次ぐ規模)
- その他・・・売上高10億円以上の案件増



調剤 & 物流センター(総合支援センター)・・・田町に開設



□ 調剤(QOLサポートクオール薬局田町店・面対応)

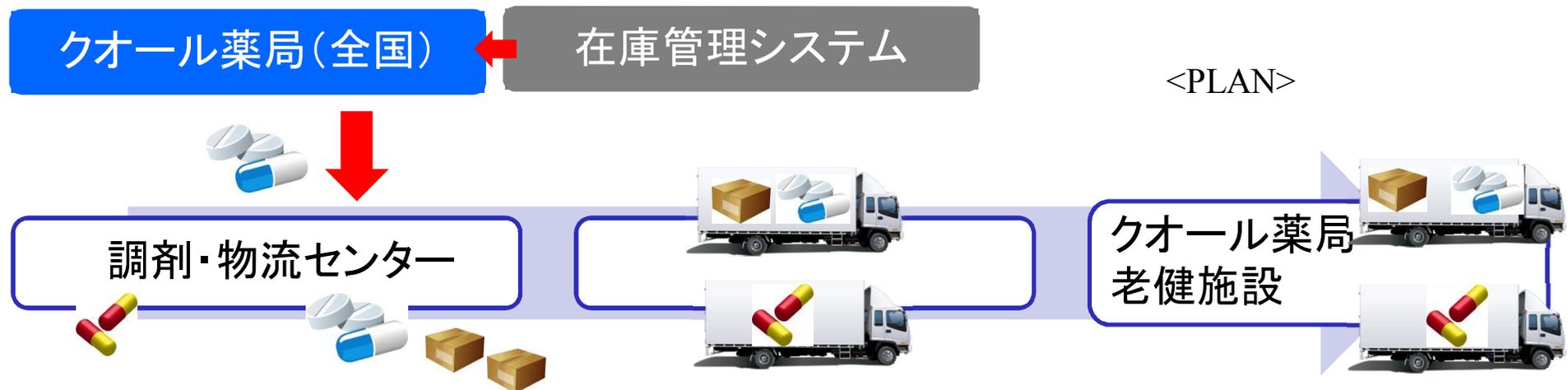
- 健康サポート薬局機能
- 老健向けサポート機能
- 薬剤師フォロー機能(認定薬剤師のアドバイス機能)

□ クオール物流センター

- 調剤との一体運用
- 物流費・破棄品・不動在庫削減など・・・約5億円の削減効果が期待される



総合支援センター



駅ナカ薬局・・・小田急線百合ヶ丘駅(首都圏1号店)



- 9月オープン
- 1日平均乗降人員:21,522人
(2015年度、前年比1.9%増)[※]
※出所:小田急電鉄
- 店舗形態:面対応薬局
- 面積:21m²
- 時間:8:00-20:00(月-土曜日)
- 9月処方箋応需枚数:400枚超
- 9月応需医療機関数:100超
- 立ち上がりは好調
- 駅周辺は、調剤薬局が少ない
- 大学病院へのバス発着駅

積極的な事業展開で2ケタの増収増益を目指す

